

「のきのま」に関する調査報告



くらしノバージョン研究所

調査報告の内容

調査1：「1階リビング×2階水廻り」の住宅での暮らしについて
・ハーベルハウス居住者アンケート

⇒「1階リビング×2階水廻り」というモデルプランの妥当性はあるのか？

調査2：地域交流に関する調査

- ・住宅地における地域交流に関する実態と意識について
- ・自宅での接客スタイルについて

⇒「のきのま」は、地域との交流に貢献できるのか？

⇒「のきのま」は、玄関に代わる接客の場になり得るのか？

調査 1 : ヘーベルハウス居住者アンケート 概要

■ 調査内容

「1階リビング×2階水廻り」の間取りの家での暮らしについて

■ 調査時期

2018年3～4月に郵送アンケート調査を実施

■ 調査対象 : 「1階リビング×2階水廻り」の間取りの ヘーベルハウスに居住する男女

調査エリア

関東、東海・中部、関西、中国、九州北部

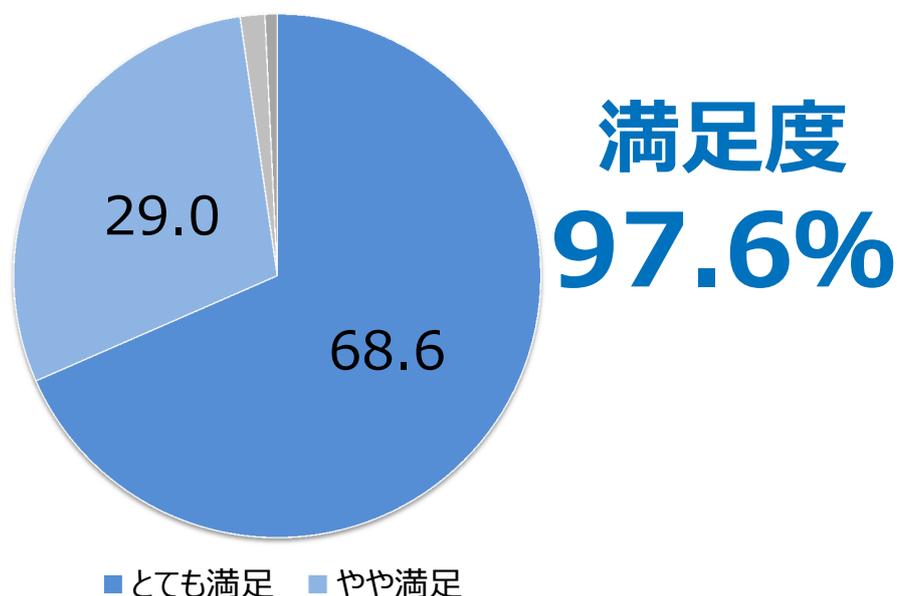
有効回答数 288件 (男性164件 女性124件)

2

間取りの満足度

「1階リビング×2階水廻り」の間取り満足度97.6%

1階リビング 2階水廻りの間取りに満足されていますか？

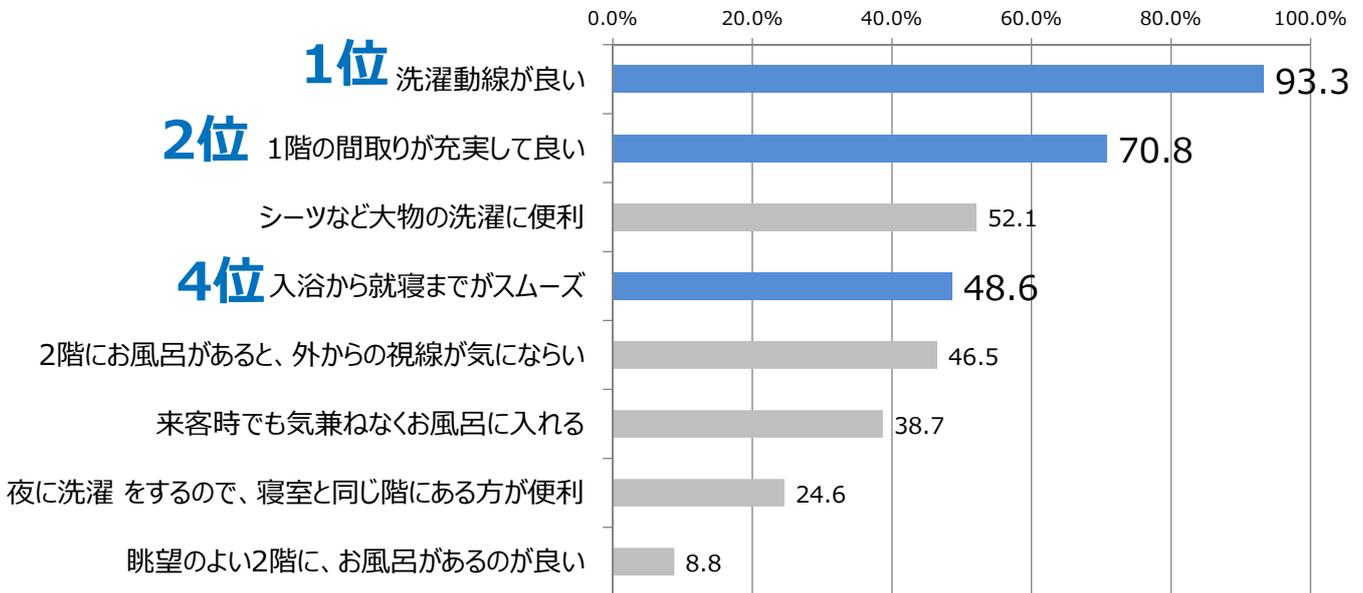


3

「1階リビング×2階水廻り」で良かった理由

間取りの良かったこと、1階洗濯動線が良い 2階リビングが充実

「1階リビング×2階水廻り」の間取りで良かったこと（複数回答）



4

間取り満足の声（自由回答から）

■ 洗濯動線

- ・共働きなので家事の負担を一番に考えて、2階水廻りにしてみたが、**洗濯動線がとにかく楽**。
- ・来客時でも洗濯物が見られなくてとても良い。**取りこんだ洗濯物の振り分けも楽**。

■ 1階が充実

- ・**1階は広いので**、お客様を招いてホームパーティがしやすい。
2Fはプライベートスペースとしてまとまっているので良い。
- ・1Fはパブリック空間、2Fはプライベート空間と仕切れるのが良い。
浴室はプライベート空間なので、来客の目に入ることがないので気が楽。

■ 2階浴室に満足

- ・水廻りを2階にすることで、**陽当たりがよく清潔感**にあふれている。
- ・**子どもの寝かしつけがスムーズ**。お風呂をあがった後、テレビを見ずにすぐに布団に行ける。

5

調査2：地域交流に関する調査 概要

■ 調査内容

- ・住宅地における地域交流に関する実態と意識
- ・自宅での接客スタイルについて

■ 調査時期

2018年3月にWEBアンケート調査を実施

■ 調査対象：核家族で持家戸建住宅に居住する既婚男女

調査エリア

関東、東海・中部、関西、中国、九州北部

有効回答数 1200件（男性600件 女性600件）

0～9歳の子ども（長子）と同居 400件

10～18歳の子ども（長子）と同居 400件

19歳以上の子ども（長子）と同居または子どもと非同居 400件

※サンプル回収は同居子どもの年齢で割付

回答者属性

20代5.7% 30代40.9% 40代20.0% 50代6.3% 60代12.7% 70代以14.5%

6

地域交流の実態（自由回答から）

20～30代の声

・【子育て】

幼い子どもがいるので、困った時は助け合える。また**学校などの情報交換**などが出来て助かる。

・【子育て】

近所のお年寄りの方が、**子どもを自分の孫のように可愛がってくれています。**

子どもが近所の人と接する事で、他人との挨拶や会話を学べるので良い環境だと思います。

40～50代の声

・【防犯】

お互い庭によく出るので**防犯面で何か気になることは報告しあえる。**

・【相互協力】

雪かきが必要な際に、道具を貸して下さったり、**手を貸して下さる関係**が築けて助かっている。

60～70代以上の声

・【何かと安心】

何かの折にはお互い助け合ったり、気に掛けてくれるので**子どもが近くに居なくても安心**できる。

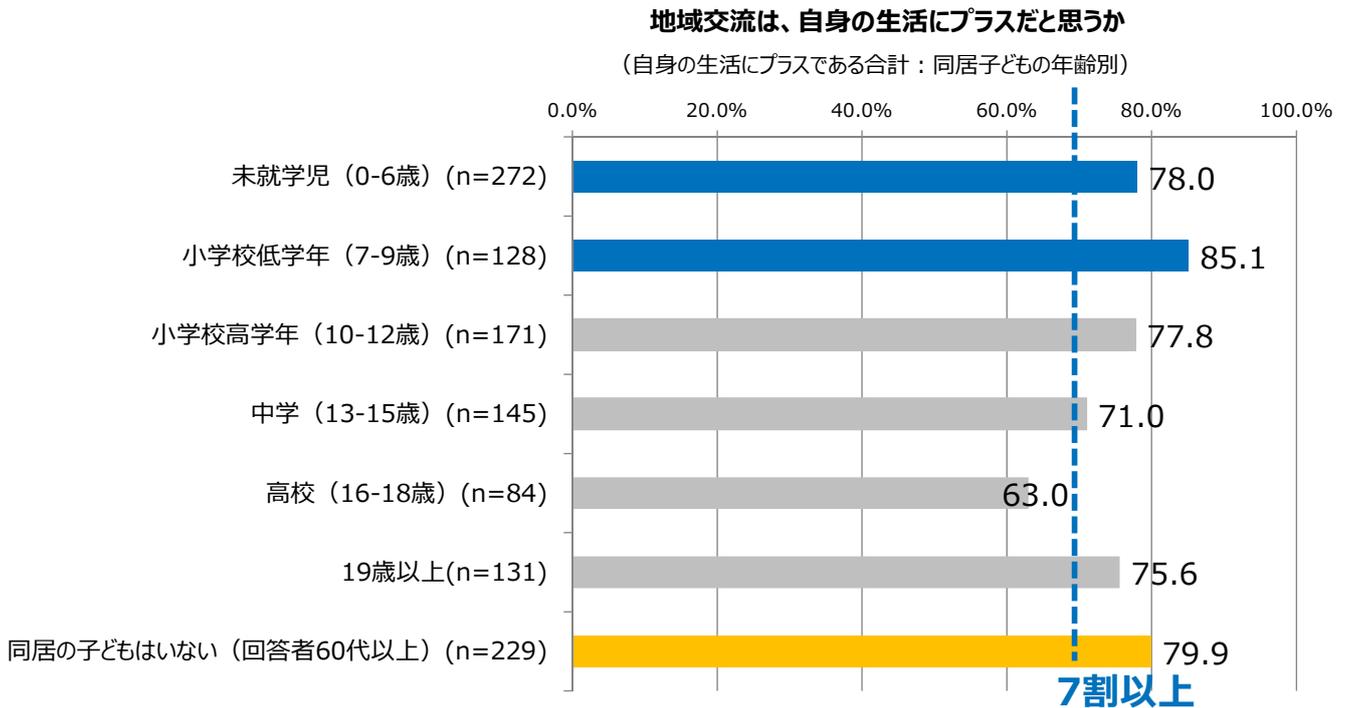
・【地域情報】

立ち話であっても**情報交換があって良い医者を紹介**されたこともあり感謝することがある。

7

地域交流の生活への影響

住宅地居住者の約7割は、交流が生活にプラスだと感じている



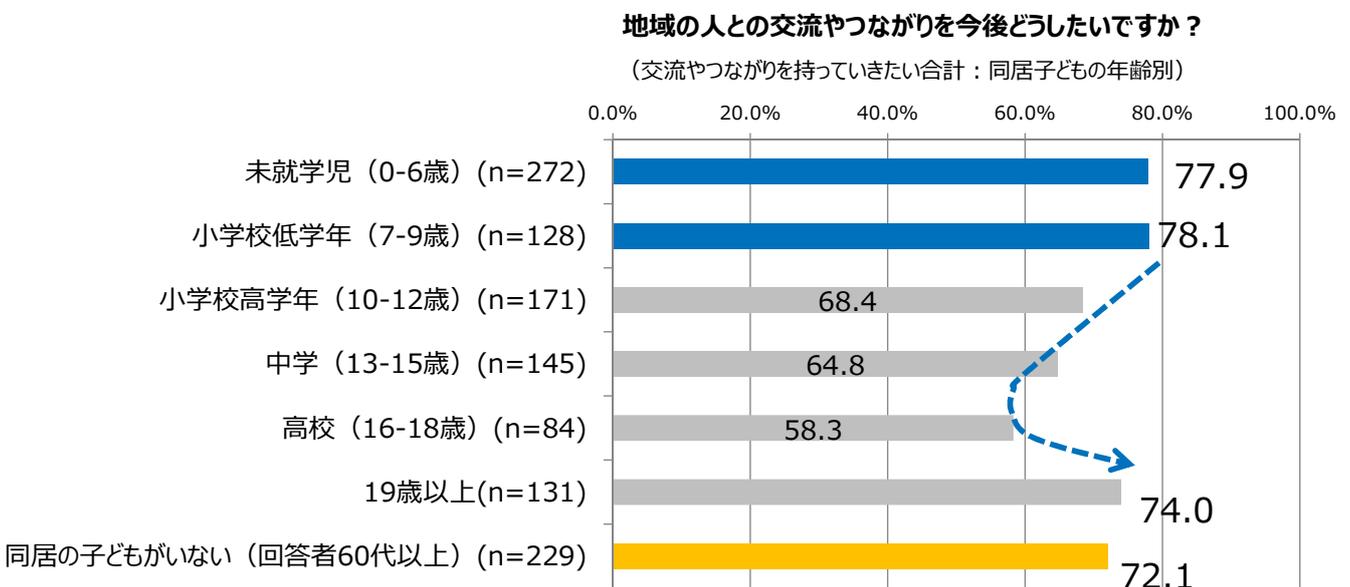
8

地域交流志向

住宅地居住者は地域との交流やかかわりを必要としている

⇒子育て世帯【子どもの年齢が低い世帯ほど】は、地域交流志向が高い

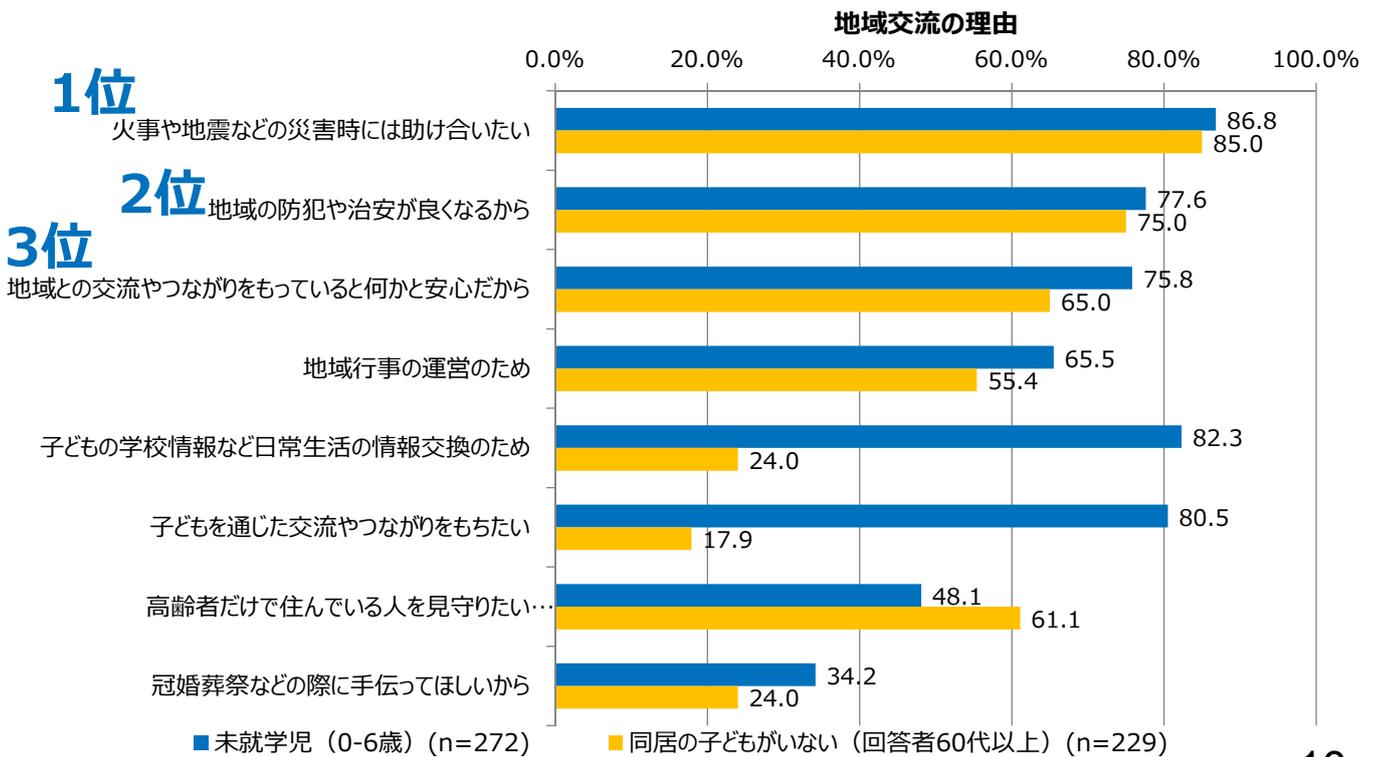
⇒熟年世帯【同居する子どもがいない（子どもが独立した）】も、地域交流志向が高い



9

地域交流の理由：特徴①

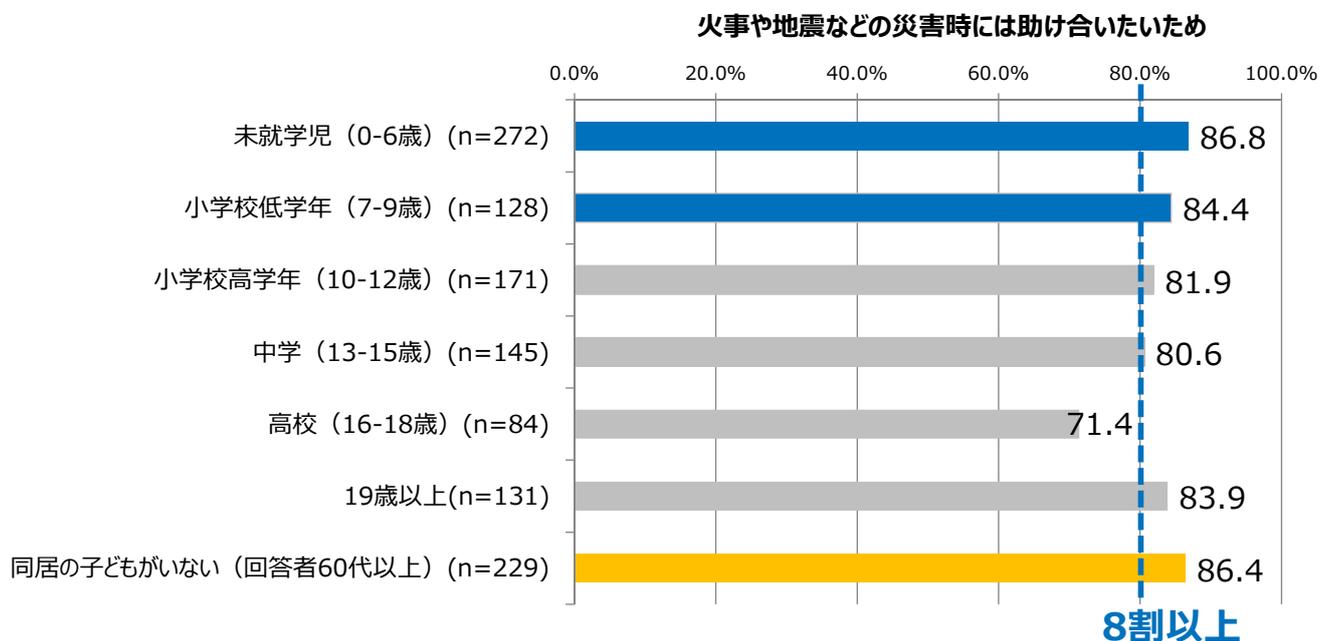
地域交流の理由 ①災害時の助け合い②治安向上③安心



10

地域交流の理由：特徴②

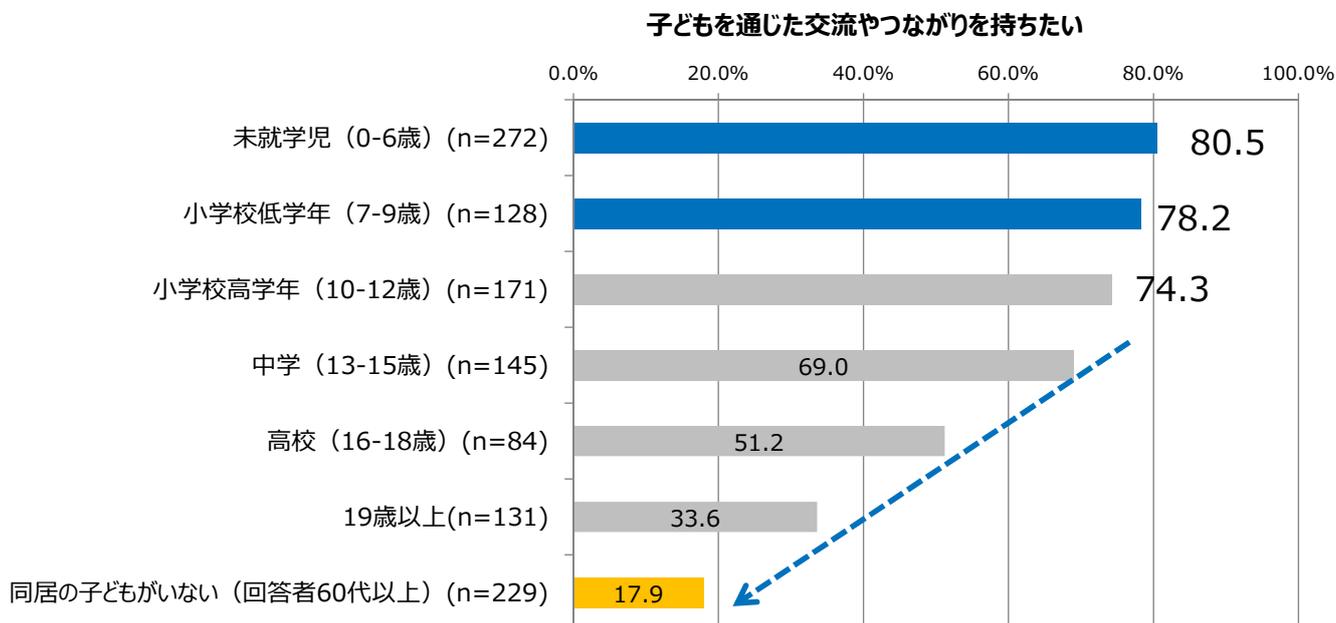
子どもの年齢にかかわらず「災害時の助け合い」や「防犯や治安の向上」は交流の理由



11

地域交流の理由：特徴③

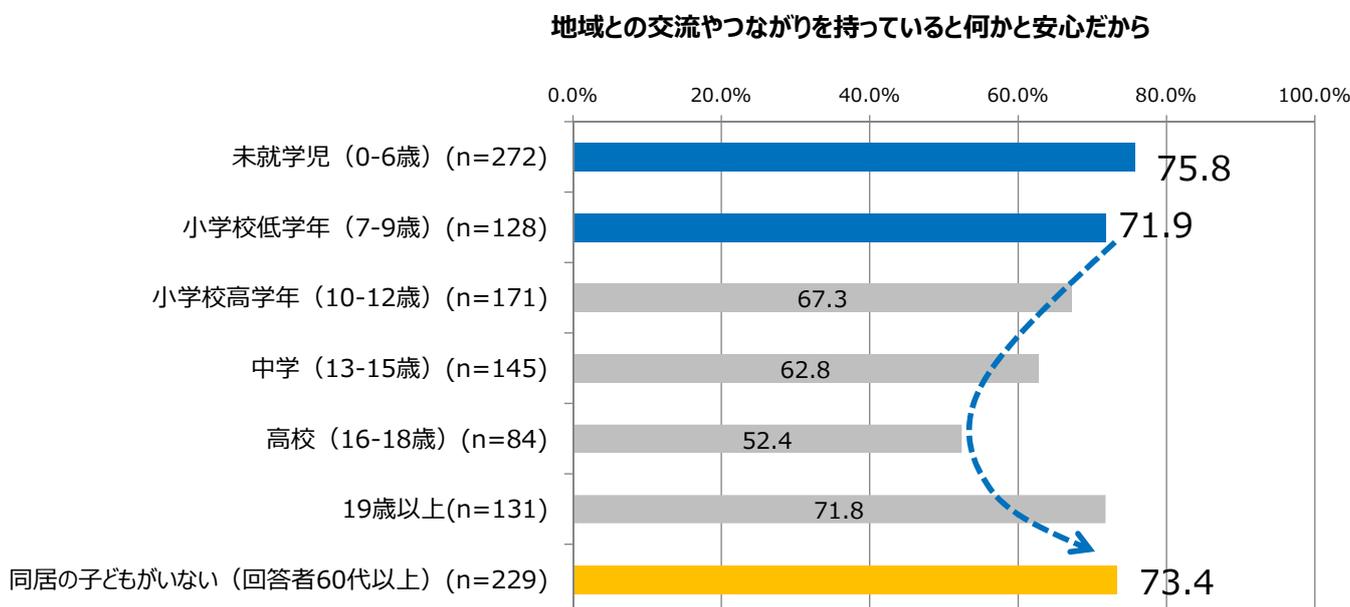
子どもの年齢が低い世帯ほど
「子ども」を地域交流の理由にあげている



12

地域交流の理由：特徴④

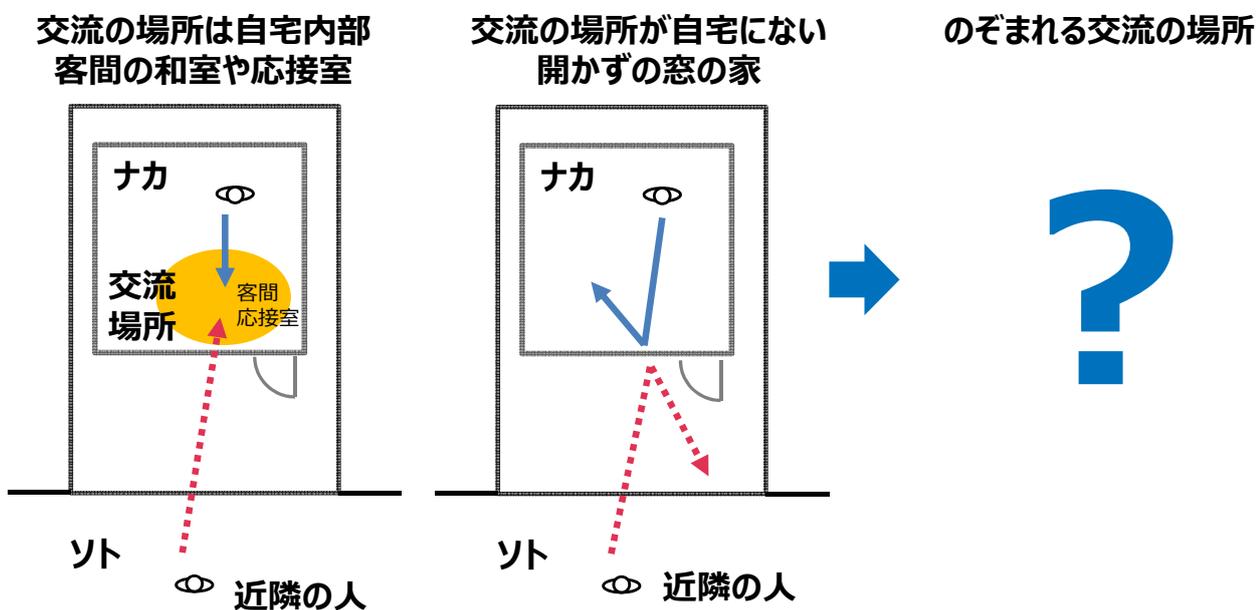
「安心感」を地域交流の理由にあげる世帯は
子育て世帯と熟年世帯に多い



13

自宅での接客スタイル（地域との交流の場所）

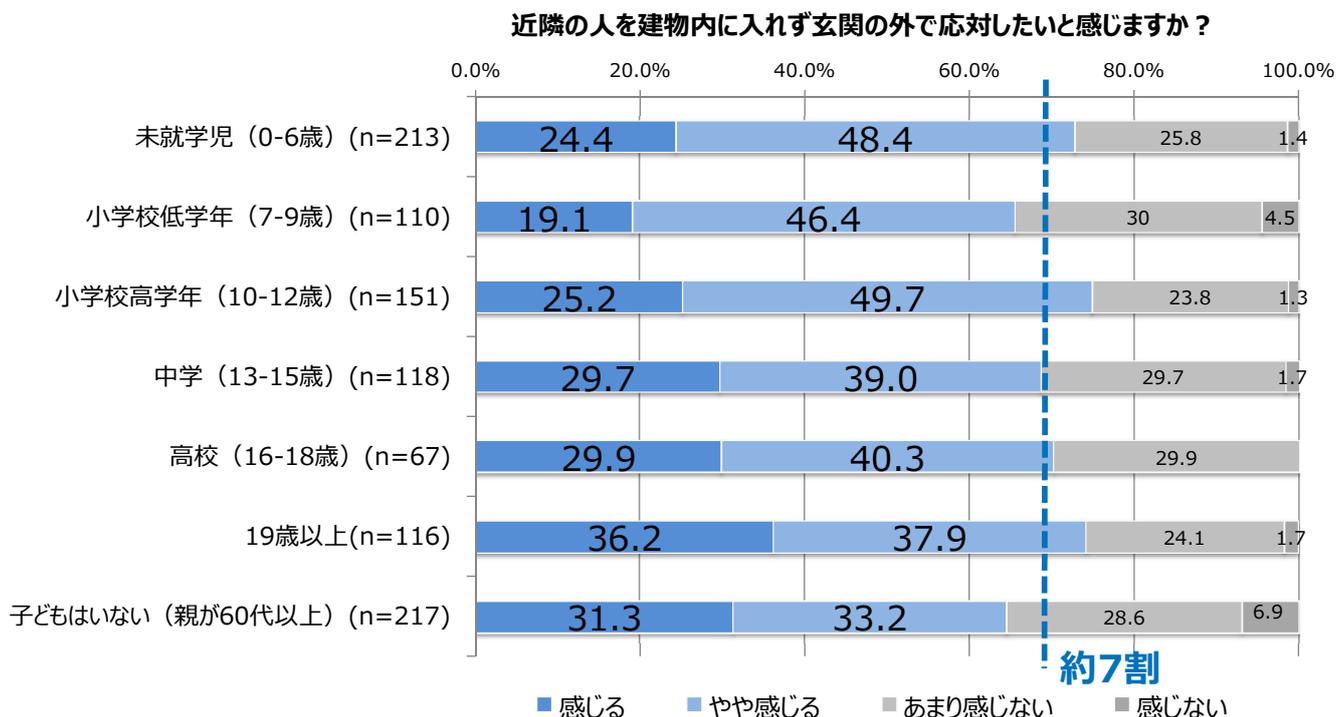
のぞまれる地域交流の場所はどこか？



14

地域との接点（交流の場所）①

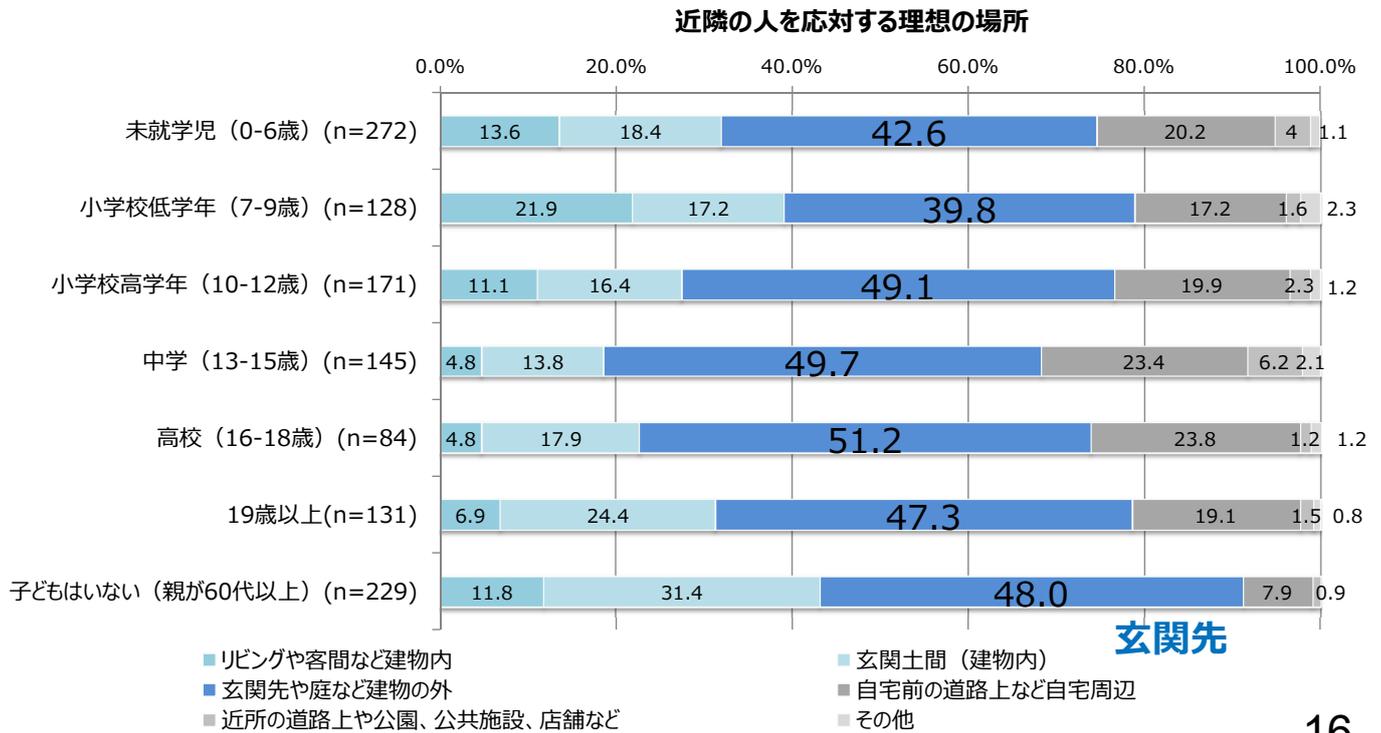
自宅での接客機会がある人の約7割が建物外での接客を希望



15

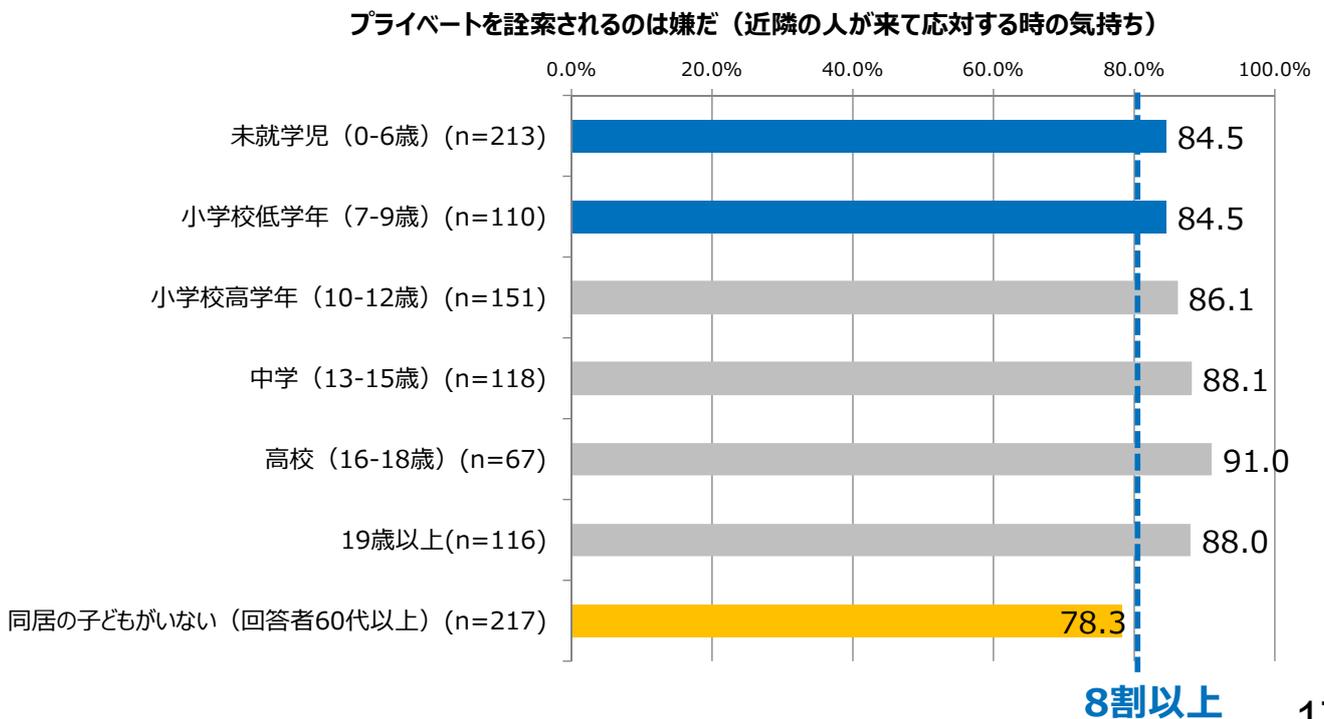
地域との接点（交流の場所）②

自宅における理想の「応対する場所の希望」 1位:玄関先



近隣の人を応対する時の気持ち

近隣の人を自宅で応対する時プライベートを詮索されるのは嫌だ



地域交流の生活への影響（自由回答から）

29歳女性

○幼稚園の情報など、**ネットでは得られない近所の情報が得られた。**

面倒でも近所づきあいは、子どもがいる家庭にとってマイナス面ばかりでないと思った。

×近所の子どもの遊び方が激しく、**部屋をグチャグチャにされるので、家に入れたくない**と思う。

36歳男性

○同じ年齢の子どもたちを持つ**父親同士の交流があり情報共有**できる。

家の前で子どもが遊ぶ時に、周辺の親が一緒に見てくれるので安心して遊ばせられる。

×特にない

44歳女性

○私の帰宅が遅い時に、ご近所さんが、小学生だった我が子を預かってくれ、とてもありがたかった。

×特に**良くない影響を受けたことはありません。**

53歳女性

○**子どもを通してのつながりは大きかった**と思います。

子どもが成長し、現在は交流がほとんどないため、**年老いた時の自然災害が不安**です。

74歳男性

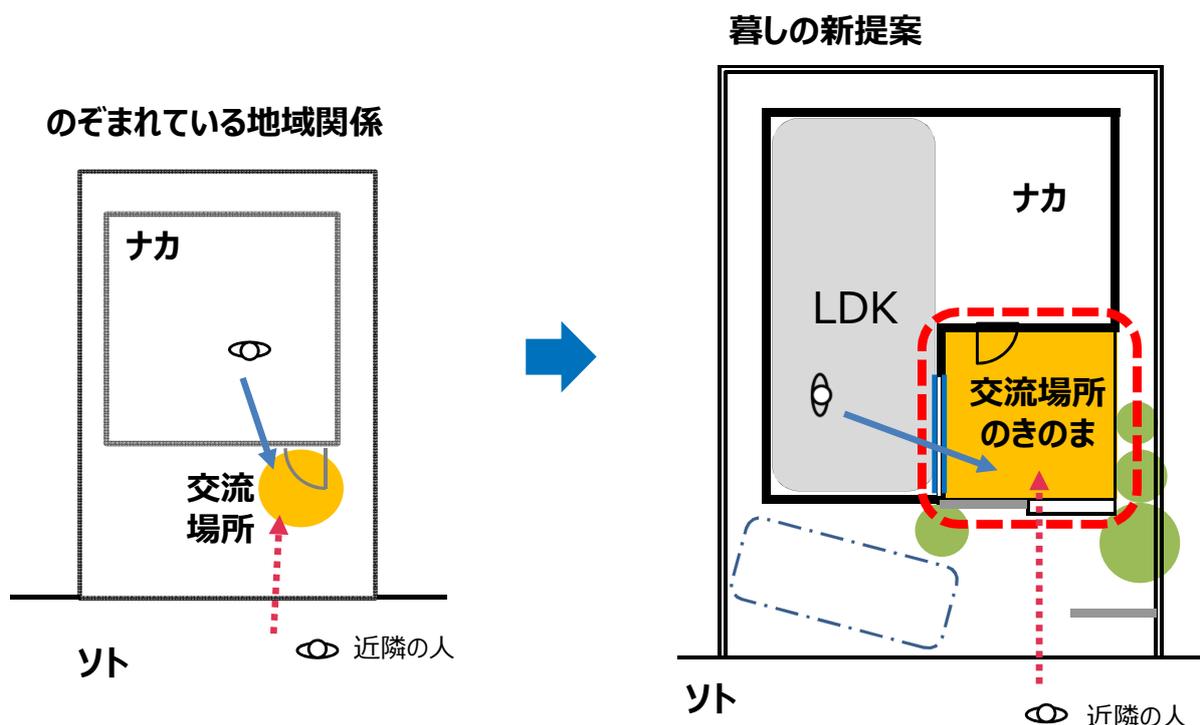
○留守にする時は、ひと声かけて**互に見守りあう。**

×私生活の問題に首を突っ込んできて、**噂話がエスカレートし不快感に耐えられない**ことがある。

18

ソトとナカとの中間領域としての「暮らしの新提案」

地域交流は必要とされており、交流の場所は玄関先が理想



19